

多古町議会では、定例会や臨時会での本会議や委員会のほかに、日ごろから視察・研修や近隣議会との連携、イベントへの参加など、幅広い活動を行っています。ここではその一部をご紹介します。

10月 芝山町議会・多古町議会連絡協議会

29日 開通を心待ちに

芝山町議会・多古町議会連絡協議会で、圏央道の多古インターチェンジ、芝山トンネル、高谷川高架橋を視察しました。

前回の視察では、まだ姿の見えないインターチェンジを足場が組まれた工事の現場から見下ろして想像し、芝山トンネルにおいては、開通式に立ち会わせていただき、困難を極めたトンネルの開通に皆で拍手したものでした。それが今回は、インターチェンジは料金所までもが姿を現して、トンネルにおいては道が整備され、バスで中を通過できました。ずっと心に描いていた風景が、現実のものとなって目の前に現れたとき、私たちは興奮せずにはいられませんでした。と同時に、工事に携わった方々、関係者の皆様のご苦勞を思うと感謝の気持ちでいっぱいになりました。安全な作業を願いながらも一日も早い開通を、そして両町の発展につながることを祈り、現場を後にしました。



完成間近の芝山トンネル

(行橋千春)

10月 地域経済活性化拠点整備事業

31日 先進地から学ぶこと



ブランチ守谷を視察する議員たち

地域経済活性化拠点整備事業の先進地である茨城県守谷市と茨城県境町を議員および関係町職員の総勢18名で視察しました。

守谷市のブランチ守谷は、駅近くの市有地を有効活用し、新たな人の流れと賑わいを作り出していました。周辺には新興住宅が広がり、公園と商業施設が融合したイベントも開催できる広い場所で、子どもたちが自由に遊んでいる姿が印象的でした。

境町では、地場産品研究開発施設を見学しました。地元で取れる農産物を研究・加工し、ふるさと納税の返礼品や道の駅で販売するなどの先進的な取り組みを行っており、地域公社と行政が連携することでふるさと寄附金として令和5年度は99億円の財産収入があったと伺いました。特色あるまちづくりを行っている施設を視察し、本町でも同様の取り組みができるのか、取り入れることのできる点はあるか、アイデアはどこから来るのかなど、視察で学んだことを掘り下げ、本町の拠点整備をさらに進めていければと思いました。

(高坂恭子)

第4回定例会の傍聴者数は1名でした

インターネットで録画中継も行っています

多古町

検索

→ 多古町ホームページ → 多古町議会 → 議会中継 → 録画中継



← 多古町議会
録画中継はこちらから

3月定例会は、3月3日(火)から開会予定です。